

令和6年度事業報告書

令和6年 4月 1日から 令和7年 3月 31日まで

特定非営利活動法人

岡山救急医療セーフティネットワークOK QQ

1 事業実施の成果

高齢者施設における急変時の対応について、原則かかりつけ医や嘱託医と連絡が取れない場合に岡山大学病院高度救命救急センター専従の救急医が24時間365日電話相談を受けた。45件の電話相談があり、想定される緊急度や重症度に応じて、救急要請の指示、即日あるいは翌日の医療機関受診の指示、経過観察の場合は観察のポイントなどの助言を行った。また、状況に応じて岡山大学病院で受け入れ初期評価やマネジメントを行った。これにより入所者の安全をだけでなく施設職員の安心も担保することに寄与できたと考えられる。

また、救急搬送実施分析調査や、県内高齢者施設向けに高齢者施設対象救急搬送に係る講習会の開催を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額(千円)
① 高齢者施設における急変時等の電話相談事業	岡山県内の高齢者施設1,463箇所を対象に、急変時等に嘱託医と連絡が取れず対応が困難な状況において、24時間対応可能な電話相談窓口を設置し専従の救急科専門医が助言を行う	365日24時間体制	岡山大学病院高度救命救急センター	岡山大学病院高度救命救急センター所属の救急科専門医8名	岡山県内の高齢者施設1,130か所/入所者およびその対応職員/46名	2,867

②その他この法人の目的を達成するために必要な事業	救急搬送実施分析調査	通年	岡山大学病院高度救命救急センター	8名	岡山県内全域/約35,000人	50
②その他この法人の目的を達成するために必要な事業	高齢者施設対象救急搬送に係る講習会	2024年10月3日、2025年3月25日	WEB	上記所属救急専門医2名	県内高齢者施設/130人	20
②その他この法人の目的を達成するために必要な事業	JPTEC プロバイダーコース	2025年年5月18日、2025年年5月19日、2025年8月17日、2025年11月24日	岡山大学病院	12名	岡山県内全域/57人	80
②その他この法人の目的を達成するために必要な事業	Haremachi まなびの KIDS CHALLENGE～おしごと体験編～	2024年8月3日～4日	イオンモール岡山 1F 未来スクエア	19名	岡山県内全域/約400人	503

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)

令和 6年度 活動計算書
2024年4月1日から2025年3月31日まで
特定非営利活動法人
岡山救急医療セーフティネットワークOKQQ
(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費	24,000		
正会員受取会費			
賛助会員受取会費			
2. 受取寄附金	4,842,000		
受取寄附金			
施設等受入評価益			
3. 受取助成金等			
受取民間助成金			
4. 事業収益			
〇〇事業収益			
5. その他収益	417		
受取利息	81		
雑収益			
経常収益計		4,866,498	
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
法定福利費			
退職給付費用			
福利厚生費			
事業促進費	162,000		
人件費計			
(2) その他経費			
会議費	748,131		
旅費交通費	1,100		
施設等評価費用			
減価償却費			
支払利息			
事業促進費	2,160,000		
その他経費計	2,909,231		
事業費計	3,071,231		
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	308,700		
給料手当			
法定福利費			
退職給付費用			
福利厚生費			
人件費計	308,700		
(2) その他経費			
会議費	91,632		
旅費交通費	8,450		
通信運搬費	36,078		
振込手数料	770		
租税公課	3,700		
その他経費計	140,630		
管理費計	449,330		
経常費用計		3,520,561	
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
経常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			1,345,937
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			1,345,937
前期繰越正味財産額			1,530,664
次期繰越正味財産額			2,876,601

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産の部」と「指定正味財産の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金

 受取寄附金振替額

II 経常費用

2. 事業費

 援助用消耗品費

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金

一般正味財産への振替額

様式例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

令和6年度 貸借対照表
令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人
岡山救急医療セーフティネットワークOK QQ
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,876,601		
未収金			
流動資産合計		2,876,601	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金			
〇〇特定資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,876,601
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
前受民間助成金			
流動負債合計			
2. 固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計			
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	1,530,664		
当期正味財産増減額	1,345,937		
正味財産合計			2,876,601
負債及び正味財産合計			2,876,601

(注) 重要性が高いと判断される用途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「III 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部
1 流動資産

II 負債の部

III 正味財産の部
1 指定正味財産
指定正味財産合計
2 一般正味財産
一般正味財産合計

2,876,601

様式例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

2024年度 財産目録
2025年3月31日現在

特定非営利活動法人
岡山救急医療セーフティネットワークOK QQ
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
手元現金	38,526		
中国銀行普通預金	2,838,075		
流動資産合計	2,876,601		
2.固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計	0		
資産合計		2,876,601	
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金			
預り金			
流動負債合計	0		
2.固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計		0	
正味財産			2,876,601

前事業年度の年間役員名簿

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

特定非営利活動法人

岡山救急医療セーフティネットワークOK QQ

No.	役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報酬を受けた 期 間
1	代表理事	中尾 篤典		2024年4月1日～ 2025年3月31日	報酬なし
2	副代表理事	内藤 宏道		2024年4月1日～ 2025年3月31日	報酬なし
3	理 事	湯本 哲也		2024年4月1日～ 2025年3月31日	報酬なし
4	同	塚原 紘平		2024年4月1日～ 2025年3月31日	報酬なし
5	同	野島 剛		2024年4月1日～ 2025年3月31日	報酬なし
6	同	本郷 貴識		2024年4月1日～ 2025年3月31日	報酬なし
7	同	升田 薫		2024年4月1日～ 2025年3月31日	2024年4月1日～ 2025年3月31日
8	監 事	森 貴美		2024年4月1日～ 2025年3月31日	報酬なし

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員の住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。